



国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology

令和8年度 第3学年
高等専門学校専攻科との
連携教育プログラム特別選抜

学生募集要項

出願書類受付期間
令和7年5月27日（火）から 令和7年5月29日（木）17時まで（必着）

【注 意】

本要項による学生募集はインターネットでは出願できません。
本学が実施する他の第3学年入学者選抜との併願はできません。

目 次

◎長岡技術科学大学入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
Ⅰ 募集人員	2
Ⅱ 出願資格等	2
1 出願資格	
2 分野の選定	
3 選抜方法	
4 合格者の発表	
Ⅲ 出願手続き	3
1 出願に必要な書類等	
2 出願期間	
3 出願書類の提出	
Ⅳ 身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談	5
Ⅴ 入学手続等	6
1 入学確約書の提出	
2 入学の時期	
3 入学手続	
4 納入経費	
Ⅵ 個人情報の取り扱い	6
Ⅶ 入学者選抜試験に関する問い合わせ等	7
◎ 入学者選抜試験の個人成績の開示について	8
◎ 様式	
1 入学志願票	9
2 志望調書	11
3 学修計画書	12
4 調査書	14
5 指導教員所見	16

長岡技術科学大学
「高等専門学校専攻科との連携教育プログラム」
入学者受入方針（アドミッションポリシー）

長岡技術科学大学は、活力（Vitality）、独創力（Originality）及び世のための奉仕（Services）を重んじるVOSの精神をモットーとしています。

本学学士課程が育成する人材像は、情報技術を活用し、グローバルに活躍できる実践的・創造的能力を備えた指導的技術者です。

そこで、本学は入学を希望する学生に対し、次のような能力と資質を求めます。

1. 技術や科学に強い関心をもち、それに関わる学習に必要な基礎学力をもつ人
2. 知識をもとに思考を深め、それにより判断したことを適切に表現できる人
3. 新しい分野の開拓や理論の創出、ものづくりに意欲をもち、技術や科学を通じて社会に貢献したい人
4. 自ら積極的に学習や研究に取り組み、問題解決のために多様な人々と協力できる人
5. 優れた個性を発揮でき、責任感のある誠実な人

高等専門学校専攻科との連携教育プログラム特別選抜（以下「本選抜」という。）とは、群馬工業高等専門学校専攻科、長岡工業高等専門学校専攻科、富山高等専門学校専攻科及び鹿児島工業高等専門学校専攻科（以下「連携専攻科」という。）との連携教育プログラムに基づく本学第3学年入学者選抜試験です。

I 募集人員

学部	分野	募集人員
工 学 部	機械工学分野	若干人
	電気電子情報工学分野	若干人
	情報・経営システム工学分野	若干人
	物質生物工学分野	若干人
	環境社会基盤工学分野	若干人

II 出願資格等

1 出願資格

在籍する高等専門学校長の推薦により令和8年度連携専攻科への選抜試験に合格し、同専攻科への入学を確約する者としてします。なお、連携専攻科への入学を辞退したときは、本募集要項の出願資格は失効し、または本学への入学を辞退したものとします。

2 分野の選定

本募集要項による入学者選抜では、在籍する高等専門学校の学科等により選定できる分野に制限がありますので、次表から選定してください。

なお、各分野の内容は、本学「大学案内」及びホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp/>）をご確認ください。

分野	対応する高等専門学校の学科等
機械工学分野	機械、制御及び材料系学科をはじめとするすべての学科
電気電子情報工学分野	電気、電子、通信、情報及び制御系学科をはじめとするすべての学科
情報・経営システム工学分野	情報、経営系学科をはじめとするすべての学科
物質生物工学分野	化学・生物および材料系学科をはじめとするすべての学科
環境社会基盤工学分野	土木及び建築系学科をはじめとするすべての学科

3 選抜方法

書類審査とします。

(1) 書類審査

提出された指導教員所見、調査書、志望調書及び学修計画書の内容を総合して判定します。

(2) 配点

指導教員所見、調査書、志望調書及び学修計画書を総合して 130 点とします。

4 合格者の発表

令和 7 年 6 月 12 日（木） 午前 10 時

本学において、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には、「合格通知書」を出身高等専門学校校長経由で送付します。（電話等による可否の照会には、一切応じません。）

また、合格発表後、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載します。

長岡技術科学大学のホームページアドレスは、以下のとおりです。

<https://www.nagaokaut.ac.jp/>

Ⅲ 出願手続き

1 出願に必要な書類等

	摘 要
入学志願票	所定の入学志願票に必要事項を記入してください。 記入にあたっては、10 ページの「入学志願票記入上の注意」を必ず確認してください。
志望調書	本学所定の志望調書に必要事項を記入してください。 様式は本学ウェブページからダウンロードできます。
学修計画書	本学所定の学修計画書に必要事項を記入してください。 様式は本学ウェブページからダウンロードできます。
調査書	様式は本学ウェブページから本学所定の様式をダウンロードできます。 出身高等専門学校長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、 高等学校等から高等専門学校に編入学・転入学した者は、出身高等学校等の調査書（厳封）も添付してください。
成績証明書	厳封したものを提出してください。 出身高等学校が外国の学校の場合は、出身高等学校作成の成績証明書の原本または出身国における卒業時統一試験の成績証明書の原本を併せて提出してください。出身高等学校等の証明書が入手困難な場合は、出身学校による原本証明をしたうえで写しを提出してください。証明書等が日本語または英語によらない場合は、訳文（英語または日本語）を添付してください。
指導教員所見	現在、高等専門学校において指導を受けている教員が作成してください。 様式は本学ウェブページからダウンロードできます。

専攻科への 合格を証明 する書類	令和8年度連携専攻科への推薦による合格を証明する書類の写し
住民票	【外国人留学生のみ】 市区町村長が交付する住民票（在留資格が明示されているもの）。なお、出願書類の記入には、必ず、住民票記載の氏名を用いてください。また、海外在住者にあつては、パスポートの写し（表紙及び氏名、国籍、顔写真、生年月日、性別が記載されたページ）。
検定料	免除します。

2 出願期間

令和7年5月27日（火）～令和7年5月29日（木）（最終日 17:00 必着）

3 出願書類の提出

出願書類と他の必要書類（調査書等）をあわせて郵送（簡易書留・速達）するか、または直接入試課窓口へ提出してください。入試課窓口へ提出する場合の受付時間は、9時から17時まで（土曜日、日曜日、祝日を除く。）です。提出にあたり、以下に注意してください。

- ① 郵送による場合、受付期限後に到着したものは受理しませんので、郵送にかかる日数を考慮し余裕をもって送付してください。角形2号封筒を用い、簡易書留、速達で送付してください。
- ② 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。また、提出された出願書類の記載事項の変更は認めません。ただし、現住所等に変更があったときは、速やかに連絡してください。

【受験票の発送】

提出された出願書類等に不備がなく、出願書類を受理したときは、令和7年6月2日（月）までに入学志願票に記載されたメールアドレス宛に「受験票」のダウンロードサイトの URL を記載した電子メールを送信します。メールが届かない場合は本学入試課に遅滞なく問い合わせ、確認してください。

受験番号を記した受験票は、選抜に関する問い合わせ、合否確認または個人成績の開示請求等が必要となりますので、大切に保管してください。

Ⅳ 身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談

身体に障がい等（次表参照）があり、修学上の配慮が必要な場合は、あらかじめ本学入試課に相談してください。なお、日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても相談が必要となります。

区 分	障がいの程度
視 覚 障 が い 者	・両眼の視力がおおむね0.3未満のもの ・視力以外の視機能障がい高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 が い 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能または著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能または困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発 達 障 が い	自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいその他これに類する脳機能の障がいため、特別な措置を必要とするもの

（注）学校教育法施行令第22条の3の規定及び発達障害者支援法に準拠した。

相談は、**事前に相談内容を本学入試課へ電話等で連絡し**、以下の書類を**出願期間開始日の2週間前まで**に提出してください。

(1) 事前相談書（次の事項等を記載したもの。様式任意）

- ① 志願者の氏名、性別及び生年月日
- ② 志願者の志望分野
- ③ 志願者の現住所、電話番号及び保護者の連絡先
- ④ 学校名
- ⑤ 障がいの種類・程度
- ⑥ 修学に際し、配慮してほしい事項
- ⑦ 出身学校等でとられていた特別措置
- ⑧ 日常生活の状況

(2) 医師の診断書

(3) その他参考となる書類（障害者手帳の写し等）

【連絡先・書類提出先】

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学 入試課入学試験第1係

TEL : 0258(47)9271・9273

V 入学手続等

1 入学確約書の提出

下記期日までに、長岡技術科学大学長あて「入学確約書」（用紙は、合格通知書とともに送付します。）を提出してください。

提出期限：令和7年6月27日（金）（必着）

2 入学の時期

令和8年4月

3 入学手続

入学手続は、令和8年2月上旬～中旬、入学手続関係書類の送付は1月下旬～2月上旬の予定です。
なお、入学手続の際は、所定の書類（誓約書、保証書等）の提出及び入学料等を納入することになります。

【入学手続窓口】

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学 学務課 教務係（TEL：0258(47) 9246・9248）

4 納入経費

令和8年度連携専攻科特別選抜入学者に係る主な納入経費の金額は以下のとおりです。（予定額）

（1）入学料 141,000 円

（2）授業料 267,900 円（初年度 前期分 133,950 円 後期分 133,950 円）

535,800 円（2年目 前期分 267,900 円 後期分 267,900 円）

VI 個人情報の取り扱い

入学者選抜に関する個人情報は、適切に管理し、下記目的以外には使用しません。

（1）入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する業務

（2）修学上必要な本学での業務のため

（3）入学者選抜方法及び大学教育研究改善のための調査・統計・分析

※(3)の調査・統計・分析結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理します。

VII 入学者選抜試験に関する問い合わせ等

出願書類の提出先、不明な点等の問い合わせ先等は次のとおりです。

なお、「大学案内」等資料の冊子版を希望される方は、本学ホームページより資料請求書をダウンロードし、請求方法に記載のとおり請求してください。詳しくは、本学ホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp/nyuushi/nyugakushiken/youkouseikyu.html>）をご確認ください。

出願書類の提出先・入試に関する問い合わせ・大学案内冊子版の請求先

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
長岡技術科学大学 入試課 入学試験第1係
TEL : 0258(47)9271・9273 (平日 9:00～17:00)

◎入学者選抜試験の個人成績の開示について

本入学者選抜試験の個人成績について、受験者本人からの請求に基づき次のとおり開示します。

1. 開示請求期間

令和7年9月1日（月）～令和7年9月12日（金）（郵送での申込みの場合は 消印有効）

2. 請求方法

（1）はじめに以下のいずれかの方法により本学所定の「個人成績開示請求書」を入手してください。

- ① 入試課窓口で入手。大学休業日（土曜日、日曜日、祝日その他大学が定める日）は除きます。
- ② 本学ホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp/>）のリンク先からダウンロードして入手。
- ③ 封筒の表に「個人成績開示請求書希望」と記載の上、110円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号：120mm×235mm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、下記の【請求先】に送付してください。

（2）次に以下のいずれかの方法により請求してください。

- ① 入試課窓口での請求（土曜日、日曜日及び祝日は除きます。）
次のものを持参してください。
 - ・「個人成績開示請求書」
 - ・本学受験票
 - ・590円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号）（郵送での開示希望者のみ）
- ② 郵送での請求
次のものを下記【請求先】まで送付してください。
 - ・「個人成績開示請求書」
 - ・本学受験票
 - ・590円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号）

3. 開示内容及び開示方法

（1）開示内容

総合点及び分野内順位を開示します。

（2）開示方法

- ① 入試課窓口での開示を希望した場合は、令和7年9月29日（月）から令和7年10月10日（金）までの間に入試課窓口において開示内容を記載した文書を交付します。その際、請求者本人であることを確認できる書類（運転免許証、保険証など）を提示してください。
- ② 郵送による開示を希望した場合は、開示内容を記載した文書を令和7年9月29日（月）に発送します。

4. 留意事項

開示請求は受験者本人に限ります。代理人からの申請や、電話での申請には応じません。

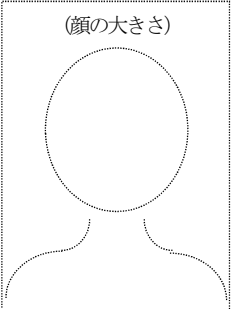
5. 請求先・問い合わせ

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
長岡技術科学大学入試課 入学試験第2係
TEL：0258(47)9258 FAX：0258(47)9070
URL：<https://www.nagaokaut.ac.jp/>

令和8年度 長岡技術科学大学 入学志願票

高等専門学校専攻科との
連携教育プログラム特別選抜

※は記入しないこと

				受験番号※			
① フリガナ 氏 名 生年月日					男 ・ 女	(顔の大きさ)  (40mm×30mm) (撮影 年 月)	
	平成 年 月 日生						
② 現住所等	〒		都道府県		市郡		③国籍及び日本の国費外国人留学生の延長申請状況 (外国人留学生のみ記入) 国籍 _____ 国費申請 ☐ 申請する予定 ☐ 申請しない
	電話番号：		携帯電話：				
	メールアドレス：				@		
④ 出身高専等	学校名	高等専門学校		⑤ 志望する長岡技術科学大学の分野等			
	学科名	科		工学分野			
	出身学科における指導教員	所属・職氏名 電話番号		本学における指導教員(予定) ☐ 受入れ教員の承諾確認	所属・職氏名 電話番号		
⑥ 出願資格	学校名	高等専門学校		専攻科における指導教員(予定)	所属・職氏名 電話番号		
	専攻名	専攻入学					
	☐ 専攻科の合格を証明する書類						
⑦ 学歴等	中学校卒業後の学歴、職歴を記入してください。外国人留学生は、初等教育から空白期間がないように記入してください。記入欄が不足する場合は、別紙(様式任意)に記入し、添付してください。						
	年 月	学校等の名称				入学・卒業等	
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						

(注) 記入にあたっては、「記入上の注意」を参照してください。

入学志願票記入上の注意

◎全般について

- 1 記入には黒色ボールペンを用い、文字は「楷書」で丁寧に書いてください。
※文字等が容易に消えるボールペンは使用しないでください。
- 2 太線のわく内のみ、記入してください。また、該当する事項を○で囲んでください。
- 3 数字は算用数字を用いてください。
- 4 出願後は、記載事項の変更を認めません。
ただし、現住所等に変更があった場合は、速やかに届け出てください。
- 5 入学志願票に、事実を隠したり、偽りを書いたりすると、入学許可を取り消すことがあります。

◎各欄の記入について

① 「氏名」等

志願者本人の氏名、フリガナ、生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。

氏名は、通称・略字などを使用せず、必ず、戸籍（外国人の場合は、住民票）のとおり記入してください。

② 「現住所等」

志願者本人の現住所等を記入してください。本学からの連絡は、この欄に記載の連絡先に行います。本学が出願を受理したときは、本欄に記載のメールアドレス宛に連絡しますので、本学からのメールを確実に受け取れるメールアドレスを記入してください。なお、出願後、変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。

③ 「国籍及び日本の国費外国人留学生の延長申請状況」

外国人留学生のみ記入してください。

日本国政府の国費外国人留学生としての延長申請の状況について、本学を進学志望として日本国政府の国費延長申請を予定している場合のみ「申請する予定」を○で囲んでください。なお、上記に該当しない場合は、「申請しない」を○で囲んでください。

④ 「出身高専等」

現在在籍している高等専門学校名、学科名、出身学科における指導教員を記入してください。

⑤ 「志望する長岡技術科学大学の分野」

志望する本学工学部の分野、志望する指導教員を記入してください。志望する指導教員と事前に相談し、受入れについての承諾を得ているときは、□欄に「レ」を記入してください。

⑥ 「出願資格」

合格している高等専門学校専攻科名及び予定している指導教員について記入し、「合格証明書」等当該専攻科に合格していることを証明する書類を添付したときは、□欄に「レ」を記入してください。

⑦ 「学歴等」

中学校卒業以降の学歴（入学・卒業・編入学等）を記入してください。外国人留学生は、初等教育（小学校相当）以降の学歴を空白期間がないようすべて記入してください。

長岡技術科学大学 志望調書

志望分野・教員	工学分野		志望指導教員：
合格専攻科	高等専門学校 専攻	フリガナ	
		氏 名	
本学を志望する理由 （連携教育プログラムを志望する理由も含めて記述してください。）			
将来に対する抱負			
自分が優れていると思うこと （具体例を挙げて記入して下さい。）			
TOEIC等英語検定試験のスコア ◎ あり ・ なし （該当部分を○で囲んでください。） （スコアがある人は試験名、受検年月、得点・級等を下に記入してください。）			

※欄は記入しないこと

連携高専専攻科特別選抜

※受験番号

高等専門学校専攻科との連携教育プログラム 学修計画書

高専名	高等専門学校	氏名	
研究テーマ（出願時の仮題）			
研究の目的・意義・2年間で目指す成果			
現時点で考えている2年間のおおまかな計画（いつ、どこで、何をするか）			
1年前期			
夏休み			
1年後期			
春休み			
2年前期			
夏休み			
2年後期			
将来、技術者として活躍することを想定したときに、このプログラムで特に力を入れたいこと。			

高等専門学校専攻科との連携教育プログラム 学修計画書〔記載例〕

高専名	〇〇高等専門学校	氏名	〇〇 〇〇
研究テーマ（出願時の仮題）			
〇〇を利用した高効率な△△の開発			
研究の目的・意義・2年間で目指す成果 環境負荷を軽減しつつ、従来の方式に比べて高効率な△△技術を開発することが本研究の目的である。従来は**を利用して**から**を発生させることで□□を得ていたが、その際、有害な××が同時に生成されるため、その処理に多大なエネルギーが必要であった。本研究では、××を生じない〇〇を原料に用いることでこの問題を解決し、環境負荷の低減と効率の向上を目指す。これにより、より安全で安価に□□を得ることが可能となり、**に代わる新たな△△技術として温室効果ガスの排出削減に貢献すると考えられる。 この2年間では、〇〇を原料とした際に発生する副生成物を明らかにする。また、□□の収率が最大となる条件を明らかにする。			
現時点で考えている2年間のおおまかな計画（いつ、どこで、何をするか）			
1年前期	高専にて、必要単位の取得を行うとともに、〇〇の測定に必要な**の合成を行う。		
夏休み	大学にて、集中講義に出席して必要単位の取得を行う。また、大学の研究室にて、〇〇の測定を行う。		
1年後期	高専にて、必要単位の取得を行う。〇〇の測定結果をもとに、合成条件を変えて**の合成を行う。		
春休み	地元企業にてインターンシップを行う。		
2年前期	大学にて、必要単位の取得を行う。1年後期に合成した**について、〇〇の測定を行う。		
夏休み	地元企業にてインターンシップを行う。		
2年後期	大学にて、必要単位取得を行う。これまでの結果を解析し、論文にまとめる。		
将来、技術者として活躍することを想定したときに、このプログラムで特に力を入れたいこと。 私は将来**の分野の技術者として、〇〇に関する開発に携わりたいと思っています。そのために、このプログラムで地元企業でのインターンシップを行い、専攻科や大学で行う研究と企業での開発の違いや共通点がどこにあるかを自分なりに理解したいと考えています。			

※欄は記入しないこと

連携高専専攻科特別選抜

※受験番号

調 査 書

フリガナ			生年月日	平成	年	月	日生
氏名			性 別	男 ・ 女			
出身 学校	学科						
年 月 入学・編入学・転入学				年 月 卒業（修了）見込			
休学期間	～		理由				

学 習 成 績

科 目	一 般 科 目							外 国 語		総 合 目 科 目	専 門 目 科 目
	国 語	社 会	数 学	理 科	保健・ 体育	芸 術	英 語	第二 外国語			
評 定 平均値											
別紙「成績証明書」のとおり											
卒 業 研 究 題 目						学 科 内 席 次	1 年	人 中	位	※	
		2 年	人 中	位	※						
		3 年	人 中	位	※						
		4 年	人 中	位	※						
		5 年	人 中	位	※						

出欠の記録

学年 区分	1 年	2 年	3 年	4 年
授業日数				
出席停止・忌引き等の日数				
出席しなければならない日数				
欠席日数				
出席日数				

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

年 月 日

所 在 地

学 校 名

学校長氏名

高等専門学校

職印

調査書記入上の留意事項

- 1 ※印の欄は記入しないでください。
- 2 学習成績の評定は、次の評定基準によってください。
該当のない科目については、斜線を引いてください。

【評定基準】

高等 専門 学校	5	100点～80点
	4	79点～60点
	3	59点～50点
	2	49点～30点
	1	29点以下

- 3 評定平均値については、小数点以下第2位を四捨五入してください。

評定平均値の計算方法

$$\text{科目の評定平均値} = \text{評定の合計} \div \text{評定の数}$$

- 4 学科内席次については、学科内が分野ごとにコース、系等に分かれている場合は、その分野の現員数を母数とします。
- 5 出身学校の「成績証明書」（厳封）を添付してください。
高等専門学校に編入学・転入学した者は、出身高等学校等の調査書（出身高等学校等の所定様式）も添付してください。
※出身高等学校等の学習成績欄の評定平均値は本調査書には記入しないでください。

○本調査書は、厳封の上、志願者にお渡しください。

○調査書の様式は、本学のウェブページからダウンロードできます。

※欄は記入しないこと

連携高専専攻科特別選抜

※受験番号

指導教員所見

志願者氏名	(フリガナ)	生年月日	平成	年	月	日生
		性別	男 ・ 女			
合格専攻科	高等専門学校専攻科 専攻					

下記評価基準により 内に評価（特A、A、B）を、〔 〕内に評価を裏付ける具体的内容を記入してください。

(1) 学習意欲・知的好奇心:	〔 技術や科学に強い関心を持ち、それに関わる学習に必要な基礎学力をもつ人 〕	
〔 〕		〕
(2) 論理的思考力・判断力・表現力:	〔 知識をもとに思考を深め、それにより判断したことを適切に表現できる人 〕	
〔 〕		〕
(3) 独創性・社会貢献:	〔 新しい分野の開拓や理論の創出、ものづくりに意欲を持ち、技術や科学を通じて社会に貢献したい人 〕	
〔 〕		〕
(4) 主体性・協調性:	〔 自ら積極的に学習や研究に取り組み、問題解決のために多様な人々と協力できる人 〕	
〔 〕		〕
(5) 人間性・責任感・奉仕精神:	〔 優れた個性を発揮でき、責任感のある誠実な人 〕	
〔 〕		〕

【評価基準】

特A・・・学科で1、2位
A・・・学科で10位以内
B・・・学科で平均

◎記入にあたっては、別紙「記入上の注意」を参照してください。

*裏面にも記入願います。

課外活動歴

第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年

〈特記事項〉

年 月 日

指導教員氏名 _____ 印 _____

指導教員所見記入上の留意事項

評価について

評価の各項目は、() 内に示された本学のアドミッションポリシーに対応しています。評価とそれを裏付ける具体的内容をそれぞれ次の例を参考に記入してください。

《具体的内容の例》

- (1)英検 2 級、数学検定、技能資格等
- (2)集団討論・研究・ディベート大会等での優れた能力の発揮
- (3)校内・地区での個人表彰、研究内容の社会への還元、発明等
- (4)ロボコンやコンテストでのグループ入賞、留学・海外経験・インターンシップ等
- (5)スポーツ・クラブ活動の主将、生徒会長その他の役員、長期ボランティア活動等

課外活動について

各学年の「ホームルーム内での役員」・「学校全体の学生会での役員」・「所属クラブ」・「校外での活動」等について、その役職名や具体的な活動の状況を記入してください。また、特記すべき事項があれば特記事項欄に記入してください。

特記事項について

志願者に関し、連携教育プログラムへの参加に当たっての所見を記入してください。また、教育上の課題や就学における特殊事情、特に配慮すべき事項があれば記入してください。

○本所見は、厳封の上、志願者にお渡しください。

○指導教員所見の様式は、本学学生募集のウェブページからダウンロードできます。



国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学 入試課

TEL:0258-47-9271・9273 FAX:0258-47-9070

e-mail:nyushigroup@jcom.nagaokaut.ac.jp

URL: <https://www.nagaokaut.ac.jp/>